

# ソウル特別市看護協会訪韓レポート

テーマ:感染管理

日程:平成25年10月21日(月)~25日(金)

参加者:13名(団長)本田みき子副会長・感染管理に携わっている会員・事務局

## <ソウル特別市看護協会の活動>

안녕하세요 (안녕하세요)

ソウル特別市看護協会は①看護職の自己成長と倫理教育促進  
②看護職の権利を守る ③看護の専門性と質の高いヘルスケアを促進を目的とした活動を行っています。会員数は29,900名、研修の開催から中小規模施設で働く看護職へのサポート、病気になった会員への支援や模範看護師の表彰などの幅広い活動をしていました。離職中の看護職への再就職センターでの復職支援、中高校生を対象とした看護体験の実施、母乳フェスティバル開催による妊娠・出産他の相談や妊婦体験等、地域での活動で会員以外の方々にも積極的に関わっている様子がうかがえました。

また同協会からは「2012年に東京都看護協会を訪問して「災害看護」の重要性を学び、帰国後、災害委員会を立ち上げ、災害安全教育を実施した」と説明があり、交流会の効果を実感できました。

## <韓国の感染管理>

今回は、3つの病院と韓国CDC(疾病予防管理センター)を訪問しました。韓国の感染管理事情は日本と似たような問題があり、訪問した病院はどれも感染対策への取り組みに積極的でした。院内には、手指衛生等に関するわかりやすくメッセージ性の高いさまざまなポスターが掲示されていました。

感染症では結核が増え、問題となっていました。そのため、国の予防対策の予算を100倍に増額するとともに、感染専門看護師による予防強化の取り組みを行い、今後の成果が期待されていました。施設見学や意見交換等から、都民への感染予防に関する対策や情報提供の在り方について、ヒントを得ることができました。

訪問中、韓国文化に触れる機会も多く、ソウル特別市看護協会の方々との交流を深めることができました。看護協会の方が日本語で話された「なごりおいしいねえ」が心に刻まれ、学びも食も充実した時間でした。有意義な5日間をお世話くださったソウル特別市看護協会の方々に心より感謝いたします。

カムサハムニダ(감사합니다)

(担当 栗原)



ソウル特別市看護協会の皆様と!



延世大学校医療院(セブランズ病院)



手指衛生はできていますか?